

連携の絆を深め、輝く明日へ



ニュースレポート 中央会

NEWS REPORT CHUOKAI

No. 812

2023

11



第75回中小企業団体
全国大会を開催



組合イベントスケジュール
2023～2024 冬



支部だより (釧根支部)

北海道中小企業団体中央会

Contents

- 01 中小企業団体全道大会決議に基づく要望活動を実施
- 02 第75回中小企業団体全国大会を開催
- 03 第39回東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会研修交流会を開催
- 04 組合イベントスケジュール 2023～2024 冬
- 06 中小企業組合検定試験に挑戦！～組合会計編～
- 08 ものづくり補助金第15次締切の採択結果が発表されました
- 10 登別ガス協同組合 創立50周年記念式典を開催
会員組合の状況及び新規組合の紹介（令和5年9月30日時点）
- 11 北海道経済産業局からのお知らせ
- 12 9月の道内景況
- 14 支部だより
- 16 中小企業大学校旭川校からのお知らせ
中小企業基盤整備機構からのお知らせ

北海道労働局からのお知らせです

11月は
「しわ寄せ」
防止キャンペーン
月間です。

その無理な発注の
「しわ寄せ」で
あなたの取引先が途方に
暮れていませんか？



中小企業団体全道大会決議に基づく 要望活動を実施

前月に引き続き「令和5年度中小企業全道大会」で決議した要望事項の実現を図るため、中小企業・小規模事業者の持続的発展に向け、実情に即した事業環境の整備や各種支援策が継続的に講じられるよう、10月17日(火)に尾池会長、松浦専務理事などの役職員が次のとおり関係機関への要望活動を実施しましたのでお知らせします。

札幌市への要望

一橋基経済観光局長、西村貴正商業・経営支援課長に要望書を手交しました。



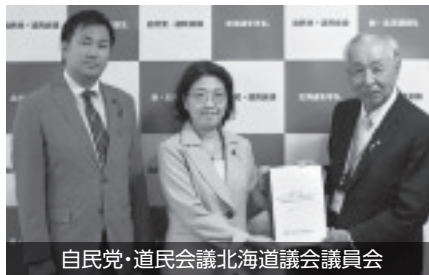
自民党札幌市連政策要望懇談会への要望

自由民主党札幌支部連合会が開催した「政策要望懇談会」に出席し、北村光一郎幹事長をはじめ、札幌市議会議員に要望書を手交しました。



自民党道連団体政策懇談会への要望

自由民主党北海道支部連合会及び自民党・道民会議北海道議会が開催した「自民党道連団体政策懇談会」に出席し、大越道連政調会長代行をはじめ、北海道議会議員に要望書を手交しました。



Rapidus 株式会社が必要とする『調達業務』に関する意向表明書のご提出について

このたび、次世代半導体メーカー：Rapidus株式会社（以下ラピダス社）は千歳市に、令和7年の試作ライン稼働に向けてIIM-1（第一工場）の建設を開始しました。

IIM-1（第一工場）稼働後は、多岐にわたる分野の調達（役務・物品等）が必要とされております。当会では「日常運営に必要な調達業務説明会」(8月23日)に参加し、ホームページ等を通して情報提供を行いました。当会ではラピダス社による調達業務にご関心のある事業者に対して、参画の意向表明と質問事項の集約を行っておりますので、ご関心のある事業者の方は、当会ホームページの「会員ページ」より提出方法などをご確認願います。

[【当会会員ページ】](#)



第75回中小企業団体全国大会開催

つながる ひろげる 連携の架け橋 ～仲間と共に希望をつなぐ 成長・躍動 新たな一歩～



10月11日、第75回中小企業団体全国大会が宮城県仙台市において、全国から約2,000名の関係者の



副議長を務める尾池会長

参加により開催されました。開会にあたり主催者の森洋全国中央会会長と開催地の佐藤勘三郎宮城県中央会会長からそれぞれ挨拶があり、伊藤哲也

宮城県副知事と杉田剛仙台市経済局次長から歓迎挨拶が行われた後、西村康稔経済産業大臣と宮下一郎農林水産大臣のビデオレターのあと、宮崎政久厚生労働副大臣、関根正裕株式会社商工組合中央金庫社長から祝辞がありました。

大会は佐藤宮城県中央会会長を議長、尾池一仁北海道中央会会長及び稲山幹夫福井県中央会会長を副議長に議事が進められ、小谷野崎玉県中央会会長の「総合経済対策の早期執行と地域を支える中小企業の持続可能な成長を実現する対策の強化」と題した意見発表が行われ、中小企業・小規模事業者等の危機的状況の克服・成長促進支援等の拡充、実態を踏まえ



オリジナルツアー参加者の皆さん

た労働・雇用・社会保険料対策の推進、積極的な事業活動を支える環境整備についての13項目を決議しました。その後、朝比奈徹宮城県中小企業団体青年部連絡協議会会長が「大会宣言」を行い、満場の賛同を得て採択されました。

引き続き、優良組合44組合、組合功労者74名、中央会優秀事務局専従者26名の表彰式が行われ、本会からは優良組合として北海道税理士協同組合、石狩南部道路維持協同組合連合会の2組合、中央会優秀事務局専従者として平松恭太網走支部事務所長が表彰されました。最後に、次期開催地を福井県とすることが発表され、大会旗が森洋全国中央会会長から稲山幹夫福井県中央会会長へ引き継がれ閉会しました。大会に併せて企画した本会オリジナルツアーには事務局を含めて11名が参加し、「仙台城址」や「松島遊覧船」の乗船による景色を堪能したほか、「五大堂」と「瑞巖寺」といった文化財に触れ、蔵王の蔵前では紅葉とエメラルドグリーンに輝く雄大な景色を楽しみ、「みやぎ蔵王こけし館」で個性あふれる「こけし」を見学、「白石城」では幕末の動乱にかけた歴史を学ぶなど、宮城県内の各所を周り、交流と親睦を深めました。



刈田岳山頂からの御釜

第39回東北・北海道ブロック 中小企業組合士協議会研修交流会が旭川市で開催されました

10月13日～14日、旭川市において第39回東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会研修交流会が開催されました。

本協議会は、東北・北海道ブロックの組合士会会員相互の交流を深めるため組織し、研修交流会は毎年、北海道及び東北5県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福島県）の持ち回りで開催され、今年度は7年ぶりに北海道での開催となりました。

13日の研修交流会には、北海道中小企業組合士会から32名が参加し、アートホテル旭川を会場として、当協議会会長会議を行った後、北海道・東北の会員や来賓総勢60名程が参加して研修交流会を開催しました。冒頭、東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会の鈴木英弘会長（全国中小企業組合士連合会会長兼務）より主催者挨拶があり、北海道中小企業団体中央会副会長である「株式会社菊水」の杉野邦彦代表取締役会長を講師とし、“菊水とラーメン物語「心を満たす一杯～北海道の「味力」を全国へ！そして、アジアから世界へ～”と題し、講演が行われ、全国3位、北海道ではトップシェア誇る生麺製造事業としての歩みや「知床ざるそば」や「寒干しラーメン」といったヒット商品の開発秘話が語られました。

修了後の交流懇親会では地元旭川のチームである「遼～すさび～」によるYOSAKOIの演舞が行われ、新子焼きやじゃがバター等が振る舞われるなど、北海道の「食」を堪能しつつ、笑顔に包まれた交流会となりました。中締めでは、秋田県中小企業組合士会の堀川深雪会長から、来年秋頃に当ブロック協議会の研修交流会を秋田県で開催することが発表されました。

翌14日に行われた視察研修会は、北海道中小企業団体中央会会員組合の旭川家具工業協同組合（藤田 哲也理事長、組合員数41名）の今年リニューアルされた旭川家具デザインセンターを見学しました。続いて、旭山動物園を見学した後、大雪地ビール館でジンギスカンと地ビールを堪能し、2日間にわたり、互いに親睦を深める賑やかな研修交流会となりました。



開催挨拶をする鈴木会長



杉野代表取締役会長による記念講演



懇親会の様子



旭川デザインセンターを視察

組合イベント スケジュール

2023～
2024冬

道内各地で組合が12月～来年2月に開催するイベント情報をまとめました。楽しいイベントが目白押しとなっていますので、是非参加してみてください。

道 央

札幌市商店街振興組合連合会
札幌市 第17回まちの灯り
1月下旬

札幌市内の商店街の参加協力のもと、毎年「まちの灯り」を開催しています。商店街と地域住民、学校関係者などが協力して、寒さが厳しい季節に暖みを感じさせる手作りのアイス(スノー)キャンドルを制作し、各参加商店街に設置します。

開催場所：市内商店街各所
問合せ先：札幌市商店街振興組合連合会 011-261-9586

札幌地方中古自動車販売事業協同組合
**札幌市 第83回JU札幌
中古車ダイナミックフェア**
3月30日(土)、31日(日)

信頼と実績のJU札幌加盟店が集結して優良中古車を勢揃いさせます。

中古自動車販売士がいる店も多数出店しているほか、ご成約者に素敵なプレゼントが当たる抽選会なども開催されます。入場無料となっていますので、お気軽にご来場ください。

開催場所：アクセスサッポロ
問合せ先：札幌地方中古自動車販売事業協同組合 011-872-5181

道 南

函館湯の川温泉旅館協同組合
函館市 湯の川冬の灯り
12月1日(金)～2月29日(木)



函館湯の川の街を灯すイルミネーションイベント。「湯巡り舞台」から川沿いを日没～22時まで「和」を感じさせる灯りでライトアップし、冬の湯の川を幻想的に輝かせてみなさまを暖かくお迎えします。

開催場所：湯の川温泉足湯「湯巡り舞台」から鮫川沿い道路
問合せ先：函館湯の川温泉旅館協同組合 0138-57-8988

函館自由市場協同組合
**函館市 はこだて自由市場
歳末大感謝セール**
12月26日(火)～28日(木)



地域の皆さまへ1年間の感謝を込め、各店舗が新鮮な魚介や野菜を特別価格で販売します。ご利用のお客様を対象に毎年恒例の新米1キロプレゼント企画も実施予定！お歳暮や年末年始のご準備にぜひご利用ください。

開催場所：はこだて自由市場
問合せ先：函館自由市場協同組合 0138-27-2200

道北

稚内市

宗谷地方石油業協同組合

第25回灯油まつり

応募期間:11月1日(水)~1月31日(水)
抽選会:2月17日(土)午後2時



当組合の稚内支部では、灯油まつり期間中に、暖房用灯油の購入200ℓにつき応募券1枚を配布し、賞金10万円などの豪華な景品が当たる抽選会を企画しています。この企画は、組合創立40周年を記念して始まった、地域利用者への還元事業として実施します。

開催場所：組合員10社及び市内灯油販売業者協議会会員2社
問合せ先：宗谷地方石油業協同組合 0162-23-2767

旭川市

旭川銀座商店街振興組合

銀座食ベマルシェ 2024

1月27日(土)



道北一大グルメイベント「北の恵み食ベマルシェ」の銀座商店街版です。商店街の商店はもちろん、商店街から仕入れをしている飲食店が参加し、銀座仲見世通りに出店を構える1日限りのイベントです。旭川の食が集まります。

開催場所：旭川銀座仲見世通り
問合せ先：旭川銀座商店街振興組合 0166-23-1210

旭川市

旭川平和通商店街振興組合

2024年氷彫刻世界大会 Welcomeミニ雪だるま

2月上旬



旭川の冬を代表する冬まつり&氷彫刻世界大会、日本国内で唯一実施される公式国際大会です。世界を代表する、繊細な氷彫刻が屋外制作される厳寒の旭川ならではの幻想的な氷の世界をぜひお楽しみください。また期間中、平和通買物公園ではかわいい雪だるまたちが笑顔で皆様のお越しを歓迎しております。

開催場所：旭川平和通買物公園
問合せ先：(彫刻大会)NPO法人日本氷彫刻会 0166-22-2522
(雪だるま)旭川平和通商店街振興組合 0166-26-0815

道東

帯広市

帯広市商店街振興組合連合会

商店街アイスクャンドル フェスティバル

1月26日(金)~28日(日)

帯広氷まつりに協賛して、各商店街がアイスランタンを作成し、商店街に数百個のアイスクャンドルを点灯します。商店街に彩りを演出し、訪れる皆様に暖かくお迎えします。

開催場所：帯広市内商店街
問合せ先：帯広市商店街振興組合連合会 0155-23-6546

北見市

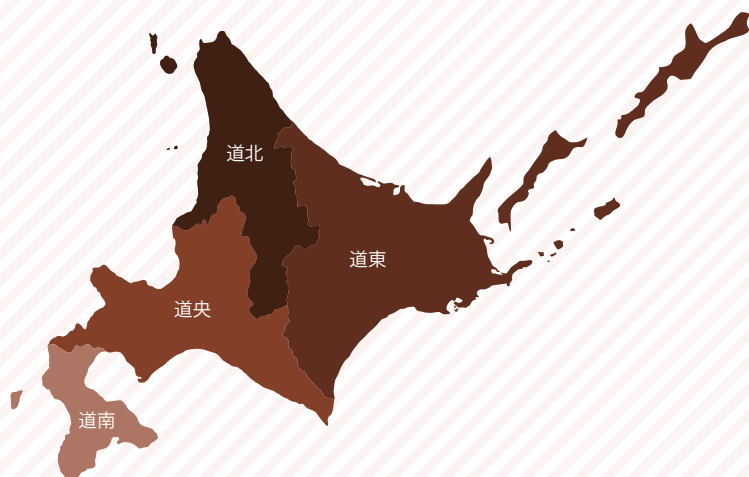
北見市商店街振興組合連合会

アイスクャンドル点灯

2月上旬(予定)

駅前に構える中心商店街の各店で、様々な趣向を凝らした手作りアイスクャンドルを設置し、約1,400もの灯りが北見の夜を神秘的に彩ります。この時にしか感じられない雰囲気のある商店街で、買い物を満喫してみたいはいかがでしょうか。

開催場所：北見市中心商店街各所
問合せ先：北見市商店街振興組合連合会 0157-22-2703



※イベントに関する詳細は、各イベントお問合せ先にてご確認ください。

また、記載されている内容は変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※写真は、過去の開催の様子です。

中小企業組合検定試験に挑戦!(組合会計編)

前回10月号の「中小企業組合検定試験に挑戦!(組合運営編)」に引き続き、ここでは「組合会計」の分野から問題を出題します。12月の検定試験に向けて、ぜひとも、挑戦してみましょう。

問1 減価償却に関する以下の文章の中にある に適切な用語を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

1. 有形固定資産の減価原因の一つとされる陳腐化や不適応化等による減価を、 減価と呼ぶことがある。
2. 有形固定資産の購入対価に を加算して、取得価額を算定する。
3. 定額法による減価償却の計算を行う場合、取得原価から を控除した金額を、耐用年数で除して算定する。
4. 定率法による減価償却の計算をする場合、減価償却費は耐用年数間に偏りをもたせて配分されるが、取得後に時間が経つほど減価償却費は、 なる。
5. 間接法による記帳を行う場合、減価償却費の相手勘定は、 となる。

語群： a. 物質的 b. 機能的 c. 収益的 d. 積算費用 e. 付随費用
f. 変動費用 g. 残存価額 h. 公正価値 i. 減損の兆候 j. 大きく
k. 小さく l. 多く m. 建物 n. 減価償却累計額 o. 貸倒引当金

問2 次の取引についての仕訳を解答欄に記入しなさい。勘定科目は下段の勘定科目欄から選択して使用すること。なお、消費税は税抜経理を採用している。

1. 未払計上していた出資配当金500,000円について、所得税及び復興特別所得税20.42%を控除し、小切手で支払った。
2. 剰余金処分により計上していた教育情報費用繰越金160,000円につき、取崩しの処理をしなさい。
3. 期末における売掛金等の債権に対する貸倒見積高は150,000円である。なお、期末現在の貸倒引当金勘定残高は180,000円であり、差額について戻入処理をしなさい。
4. 組合員Aに対して期末に販売した甲商品600,000円(消費税10%別途)が計上漏れとなっていることが判明した。
5. 組合員Bが期末に脱退することになったので、決算に際してBの本組合に対する出資金200,000円を未払計上する。

勘定科目欄： ・ 貸倒引当金 ・ 売掛金 ・ 教育情報費用繰越金 ・ 教育情報費用繰越金取崩
 ・ 売上高 ・ 預り金 ・ 当座預金 ・ 仮受消費税等
 ・ 未払金 ・ 出資金 ・ 貸倒引当金戻入 ・ 未払出資配当金

問3 次の金額は、流動負債の科目として記帳される。どのような勘定科目を用いて処理されるか、語群から最も適切なものを選び、答えなさい。

- 給料から差し引いて預かった従業員の所得税の額
- 商品の引き渡しに先立って得意先から受け入れた売買代金の一部
- 当座預金の残高を超えて振り出した小切手の額
- 事務用パソコンを購入した代金の未払額
- 銀行から資金の融通を受けるために振り出した約束手形の額

語群： A. 支払手形 B. 買掛金 C. 前受金 D. 手形借入金 E. 預り金
 F. 未払金 G. 当座借越 H. 未払費用 I. 前受収益

問4 次は組合に関する税法の取扱いを述べたものである。文中の ~ について、語群から最も適切なものを選び、答えなさい。

- 法人が、その所属する協会、連盟その他の同業団体等の構成員の有する事業用資産について災害により損失が生じた場合に、その損失の補てんを目的とする構成員相互の扶助等に係る規約等に基づき合理的な基準に従って当該災害発生後に当該同業者団体等から賦課され、拠出した分担金等は、その支出した日の属する事業年度の の額に算入する。
- 事業協同組合等は、法人税法上では、 に分類され、公益法人等とは異なり、すべての所得に課税される。
- 事業協同組合等が金融機関から受ける預金利子は、消費税が非課税であり、事業協同組合等が国等から受ける補助金は、消費税が である。

語群： A. 交際費 B. 協同組合等 C. 課税 D. 出資金
 E. 公共法人 F. 不課税 G. 損金

答え

問1 1:b、2:e、3:g、4:k、5:n

問3 1:E、2:C、3:G、4:F、5:D

問2

問4 イ:G、ロ:B、ハ:F

	借方		貸方	
	科目	金額	科目	金額
1	未払出資配当金	500,000	当座預金	397,900
			預り金	102,100
2	教育情報費用繰越金	160,000	教育情報費用繰越金取崩	160,000
3	貸倒引当金	30,000	貸倒引当金戻入	30,000
4	売掛金	660,000	売上高	600,000
			仮受消費税等	60,000
5	出資金	200,000	未払金	200,000

(一部本会で加筆のうえ掲載)

中央会からのお知らせです

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金15次締切の採択結果が発表されました

令和5年4月19日から7月28日までの期間において、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金の15次締切の公募を行ったところ、全国で5,694者から申請があり、全国採択審査委員会による厳正な審査の結果、北海道内からは次の122者が採択されました。

〔一般型〕

商号又は名称	事業計画名	商号又は名称	事業計画名
株式会社北富青果	自動操舵装置付きトラクターの有用性と導入による効果	株式会社林田ファーム	マニュアルプレッド導入による効果的な堆肥散布と持続可能な営農スタイルの実現
株式会社林鉄工	高性能プラズマ切断機導入によるコスト削減と生産性向上	ラサ動物病院	歯科手術の低侵襲化と労働生産性向上により、地域の歯科診療におけるリーダーへ
北島農場	新型スプレーヤ、農業用ドローン導入による生産性向上とスマート農業の実現	株式会社 Accordent Lab	咬合再構成を歯科医院に提案、匠の技が更に光る補綴物の納期を85%短縮！
寺井建設株式会社	ICT工法導入により、人材不足・高齢化を解決して生産性を向上する事業	森 和裕	厳しい育成基準が設けられた特別栽培メークインの安定生産に向けた設備投資
株式会社光進水産	冷凍ホタテ貝用 X 線ランク選別機の導入による生産性向上。	石原農産	需要拡大する北海道産小豆の増産体制の構築により、ブランド価値向上を目指す
株式会社エヌフォレスト	高齢樹林増加への対応および生産能力強化のための大型高性能林業機械導入	有限会社三共タイヤ	再生タイヤの利用促進を図る自動タイヤチェーン導入事業
株式会社大丸渋谷商店	魚の「3枚おろし」加工能力向上による北海道産鮮魚の販売量拡大計画	藤森農場	収量の向上が求められるポテトチップス用馬鈴薯の農業散布高度化
辻本牧場	スマート農業で飼料を増産しチーズ需要及び飼料自給率向上へ貢献	AguricoEN	収穫機導入・農機連携による枝豆生産効率の向上・地域への貢献
有限会社馬場機械製作所	研磨工程の高度化とリードタイム短縮に向けた平面研削盤導入事業	有限会社十勝リサイクル	生産体制見直しによる再生油の品質と生成速度の向上
株式会社ノーユー社	高効率焼却と高機能フィルターの一体型畜産糞尿リサイクル装置の開発	高橋農場	新型コンビネーション播種機導入による狭畦栽培の実現
株式会社青明社	新型パネルソー導入で裁断を効率化、生産性向上で利益を確保	大道農場	立ち植え式長芋プランター導入による持続可能な農業体制確立へ
乾川英樹	小麦乾燥機導入による品質・収量の向上並びにブランド力強化	アプリオン株式会社	クラウド型日報管理システムの開発及び販売
有限会社ランドハート	新しい排水処理システムの構築による「弾力的な生産能力」の獲得	株式会社生駒組	大規模農地の農業工事を実現！測量用ドローン導入による農業工事の測量業務 DX
山口秀人	地域ブランドを支える種芋農家の生産性・品質向上の取り組み	株式会社池ノ上木工	新型パネルソー導入で製造を高精度・高速化。未経験者雇用拡大と収益体制改善を実現
日建片桐リース株式会社	仮設資材検査仕分ラインによる生産性及び供給力の質量向上の実現	橋本猛農場	最新農業散布機械導入による増産および品質向上のとりくみ
旭川機械工業株式会社	高精度加工機を導入し、製品品質の向上及び生産効率の向上を図る	有限会社慶新鋼業	ファイバーレーザー溶接機の導入によるアルミ製建築金物の生産性向上
有限会社清光舎水野印刷	道央圏初インクジェットナンバー印刷システムによる事業拡大	株式会社藤井水産	鮭切り身製品のパッキング工程の改善と環境変化を見据えた生産体制の整備
有限会社有塚農場	地域代表として農業王国十勝を動かす先端設備導入と新生産体制	株式会社 KUWANO	地域農業に貢献する農業経営の実現に向けた新技術の導入
有限会社にれの木動物病院	低侵襲検査で致死的疾患の早期発見・手術を行う唯一無二の施設へ	有限会社アイシン工業	スギノポンプ導入による水道施設改修工事の全工程一括受注の実現
小児・障がい児かぜかおるこども歯科	小児歯科専門医によるデジタル歯科技術を活用した小児口腔機能向上体制の整備	北日本大旺株式会社	高性能検知システムと無人選別システムの導入で、精密鋼球の更なる高品質・低コスト生産に挑戦
株式会社タカノ	GPSトラクターと大型スプレーヤーを活用した高品質・高効率農業	日本西丹株式会社	世界のゴルフインバウンドを日本に誘客する予約システムを導入し商圏拡大する事業
株式会社ディ・ビー・シー・システム研究所	水素の高速吸収・放出を実現する触媒担持体の開発	株式会社ホーム企画センター	アプリ導入で経費40%削減！新規通販の営業効率を30%向上！
デザイン設計株式会社	ドローン搭載型グリーンレーザーキャノン導入による測量業務拡大	有限会社新技工	プレスブレーキ導入による生産性向上及びコスト削減計画
有限会社育藤農場	小豆栽培拡大に向けた、機械化による収穫および施肥効率化	株式会社楽楽食品	新包餡機導入で中華まん製造の生産性向上と薄皮小籠包の販売展開
株式会社アクティブエンジニア	ICT 測量事業の展開！三次元データ活用による北海道インフラ整備への取組み	税理士法人令月会	RPA(ロボティクス・プロセス・オートメーションシステム) + AI + チャット GPT を導入
株式会社肉の山本	自動化設備を導入し、全国へ「味付ジンギスカン」を拡販する。同時に生産能力・生産性の向上を狙い売り上げ拡大とともに慢性的な人材不足の解消を図る	神谷農産株式会社	高性能な播種作業機械の組合せ稼働による、少人数営農体制の確立
合同会社 Mamezo	地場産大豆を使った「生産者の顔が見える」きな粉製造事業	株式会社小森産業	最新型スプレヤーによる長芋新育成方法への転換
		株式会社イークラフトマン	Quick ConnectEDI サービスのクラウド化による EDI プラットフォーム構築

商号又は名称	事業計画名
有限会社羊蹄食品	納豆製造設備の自動化、省力化による生産性向上および製造量増強
株式会社ホクドー	自社で全て作製できる組み換えタンパク質作製システムの導入
扶桑産業機械株式会社	鋼材の自社加工対応を通じたサプライチェーン強化事業
ミルクフォレスト株式会社	牛の健康と労働環境改善に向け飼養体制を構築し生産性向上を図る
近藤ファーム	外国産小麦高騰で需要が増す道産小麦の収穫量増を図る播種高度化
有限会社下川刃物研磨工業	チップソー再研磨事業の加工キャパシティー増大
株式会社 needs	多様化する顧客ニーズに対応した魚体冷却用水の提供方法創出計画
高橋農場	十勝幕別町にしかない幻の馬鈴薯「インカのめざめ」増産強化
田中機械製作所	高性能 CNC 旋盤導入で実現する生産性向上による事業拡大
有限会社北洋共同漁業部	新設備導入による斜里産秋鮭のブランド化と新販売サービスの展開
株式会社丸イ佐藤海産	3D フリーザー導入による2級品冷凍帆立貝柱の生産事業
株式会社雪研スノーイーターズ	雪害を未然に防ぐ！高精度吹雪シミュレーションの導入による生産性向上・高付加価値提案実現事業
株式会社エィコウウェルネス	当社の生産性を向上させ農業の効率化を後押しするドローン事業
北新金属工業株式会社	EV 車用カーエアコンセンサー部品の量産体制構築
株式会社マツオ	自動計量器導入における業務改善と生産性の向上
あべ歯科医院	事前診断とサージカルガイド作製の内製化による革新的なインプラント治療提供体制の確立
有限会社大黒屋	新型コーナーラインで作業工程の短縮により従業員の多能工化を目指す！！
有限会社三共	日本独自の技術である経木折箱の伝統を守り、脱プラ社会に貢献！
DENTAL LAB AQUA	「ハニカム構造」を応用した高強度かつ軽量化デンチャーの開発
橋本農園	スマート農業と乾田直播でとりくむ新たな需要開拓
株式会社世世屋	次世代型冷凍技術を活用した高付加価値水産加工製品の開発
暁交通株式会社	インバウンド復活の好機を DX 導入で掴む旅行業導入施策
あいもり株式会社	はたでの貝殻を活用する「省 CO ₂ モルタル」製造ライン構築事業
株式会社 Conpace	果物本来の風味を生かした、高品質なジェラート・ソフトクリームの製造
株式会社 Jaz	廃棄されるロスフラワーを活用しホームフレグランスの試作品開発
株式会社水野染工場	型作りに使う枠への紗張りを内製化し、運送費削減と生産性向上
有限会社野楽	直に苗を植える水稻の乾田直播栽培で生産性向上を図る
きもと農場	牽引式スプレーヤー導入によるスマート農業の推進
有限会社ジャパン・ラム	効率的な生物由来製品の精製体制の構築による生産性向上の実現
廣瀬孝恭	小麦乾燥機の導入による事業の内製化の実現
有限会社北洋舎クリーニング	熟練技術と先進機械設備の融合で1ランク上のクリーニング品質を実現
株式会社トコロファーム	RTK 連動玉葱収穫機の導入による農業スマート化への更なる発展
有限会社坂田農場	長芋、馬鈴薯の収穫効率化による売上・収益拡大
有限会社本間建築板金	タッチパネル式動力折曲機導入による作業効率改善と付加価値向上を目指す

商号又は名称	事業計画名
合同会社 kakeL	調剤業務 DX 化による「高齢者施設向一包化サービス」拡大事業
井尾農場	最新スプレーヤを使って、葉害、病害虫ともおさらば！
有限会社鎌田牧場	新型搾乳設備導入による生産性向上
鈴木牧場	オーガニックグラスフェッドミルクの設備導入による新たな販路の確保と商品ラインナップの拡充
名波農場	牛ふん堆肥活用による減化学肥料栽培への取り組み
アイラブ歯科クリニック	新規治療サービスの構築と継続的治療の推進によるブランド力向上
株式会社丸亀佐久間板金工業所	アナログとデジタルの融合に取り組み、地域建築板金業界を活性化
株式会社かやね	原油高に負けない！薪ボイラーで循環型社会を目指す天然温泉浴場
加藤	スマート農業導入による「十勝川西ながいも」生産体制の強化
有限会社北海屋商店	3D 冷凍フリーザー導入による、高付加価値冷凍魚の増産
垂水農場	水稻の省力化栽培への転換による高収益作物への労働力配分の強化
株式会社北村鉄工所	DX と連動する先端設備を導入して生産性を向上させる鉄工所事業
株式会社五島軒	2パック入レトルト食品の製造効率改善を通じた商品差別化推進
株式会社松浦農産	新型セレクトラ導入による生産性向上と高品質な地元産品の生産力強化
株式会社山本山本忠信商店	革新的クラウド型販売管理システム導入による業務効率化促進と地場食材の流通事業領域の拡大
佐藤農園	無人トラクタ導入による生産能力の飛躍的向上と玉ねぎ増産体制の構築
株式会社 God-Wind	AI 電子カタログを利用した新たな互助会営業方法を確立し生産性を向上
株式会社北海道カワゾエカンパニー	配合システム導入による生産体制のロス低減、品質安定化による事業
北海道美建株式会社	アスベストに関する顕微鏡定性分析事業の立ち上げ
合同会社ガレージ橋本	リフト・エアコンガス回収再生機導入による作業効率・収益の向上
株式会社風景	ヨーグルト製造ラインの変更による生産性の向上
株式会社ミルキーベル	新鮮な生乳と地元産の原料を活かした本格グレンジアイスを開発
株式会社三浦商店	「IoT 灯油管理システム」による業務効率化
有限会社石田鉄工	最新メカ式シャーリングマシン導入による安全性と生産性の向上
匠プレス工業株式会社	NC 自動型溶接機の導入による生産性の向上
株式会社ホクセン	最新式選別機械導入による金属スクラップ選別工程への参入と選別高精度化
株式会社 I&Uassociate	新商品(華海苔・羅賓昆布)の開発・製造のため新型レーザー加工機の導入と販促
沖元慶大	最新式万能型スプレーヤー導入による生産性向上計画！
株式会社 RIPRO	産業廃棄物処理業者が加工原料製造分野へ進出するため設備投資計画
道興建設株式会社	下水道管調査カメラ導入による調査プロセスの改善
株式会社 MARVELOUS	機能性ヘアケア商品の海外市場進出のための製品改良と知財化
株式会社 GypsyFireStream	レトルトパウチ設備導入～旬の味をインバウンド客へ通年販売
株式会社 TONMANA	JAPAN ブランド「淡雪ウニ」[淡雪ホタテ]の北米市場開拓

お問合せ先

ものづくり補助金北海道地域事務局

札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7ビル 3階

TEL:011-522-9300 HP:<https://portal.monodukuri-hojo.jp/>

登別ガス協同組合 創立50周年記念式典が 開催されました

10月12日、登別ガス協同組合（稲原 篤仁理事長、組合員数10名）の創立50周年記念式典が、登別市の登別グランドホテルにおいて77名の出席のもと開催されました。

同組合は昭和48年5月に設立され、ガス及びガス関連商品の販売業務、市営住宅や学校などの公共施設及び組合で認めた施設へのガス販売事業を行っています。

記念式典では、稲原理事長が式辞で「現在、組合は防災に注力しており、2010年に登別市との防災協定を締結し、公民館や避難所といった箇所へLPガス災害用バルクの設置を開始した。今後もこれまで以上に防災を通じて地域貢献を果たし、『チャレンジ トゥー ザ フューチャー』をスローガンに次の50年に向けて精進していきたい。」と今後に向けた決意を述べました。その後、優良組合等表彰として永年にわたる功績をたたえ、北海道中小企業団体中央会会長表彰が授与されるなど、盛会のうちに締めくくられました。



本会の会員数

令和5年9月30日時点

事業協同組合（連合会含む）	1,049	協業組合	8
火災共済協同組合	1	商工組合	20
信用協同組合（連合会含む）	29	商店街振興組合（連合会含む）	38
企業組合	58	その他（株式会社、社団法人等）	35
計			1,238会員

北海道経済産業局からのお知らせです

DXに取り組んでいることをPRしたい

DX認定制度

DX認定 IPA



ビジョン策定や戦略・体制の整備などを既に行い、DX推進の準備が整っている事業者(DX-Ready)を経済産業省が認定します。

【事業スキーム】



【「情報処理の促進に関する法律」に基づく認定制度（DX認定制度）】

対象者	全ての事業者（法人と個人事業者。法人は公益法人等も含む）
認定要件	デジタルガバナンス・コード2.0（経営者に求められる企業価値向上に向け、実践すべき事柄）に基づく認定基準を満たしていること※1
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ①DX認定事業者はIPAのホームページで公表 ②認定事業者は右記のロゴマークの利用が可能 ③上記により「自社がDXに積極的に取り組んでいる企業」であることをPR可能 ④下記の支援措置を受けることが可能
支援措置	<ul style="list-style-type: none"> ①DX投資促進税制 ②日本政策金融公庫による融資 ③中小企業信用保険法の特例 ④人材開発支援助成金（人への投資促進コース）
申請	通年で申請可能（webサイト（DX推進ポータル）から申請）。申請から認定取得までの標準処理期間は60日 ※gBizIDの事前取得が必要
有効期間	2年間
相談窓口	DX認定制度事務局（(独)情報処理推進機構） ikc-dxcp@ipa.go.jp 窓口対応時間 10:00～18:00（土日祝日を除く平日 月曜日～金曜日）

※1申請のガイダンスは事務局Webページをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxcp.html>

<ご参考：DX推進指標>

DX推進指標はDXの推進状況を自己診断するためのツールです。
詳しくは下記および右記QRコードの「自己診断結果入力サイト」をご覧ください。
<https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxpi.html>



【北海道経済産業局 窓口】

地域経済部 製造・情報産業課 TEL：011-709-2311（内線2565）

E-mail：bzl-hokkaido-seizojoho@meti.go.jp

9月の道内景況 情報連絡員レポート



原材料・燃料価格高騰により受注減少、物価上昇により消費者購買力低下 売上高伸び悩む

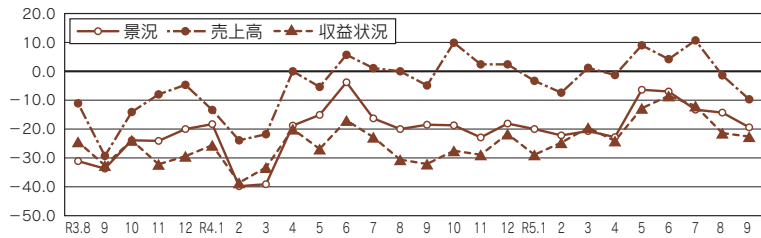
概況

前年同月の比較では、「景況」、「売上高」、「収益状況」の全てが低下している。

また、8月から9月の推移では、「景況」、「売上高」、「収益状況」の全てにおいて低下しており、「売上高」は前年10月からの直近1年間で最低値となった。

情報連絡員によると、製造業からは、公共事業の減少や経営環境の変化により、受注が減少しており、さらに、原材料・燃料価格高騰による計画の見直し等による業務量の縮小や延期などが発生しているとの声が寄せられている。非製造業からは、物価上昇による消費者の買い控えに加え、従業員の高齢化や人手不足が進み、今後の経営状況を不安視する声が寄せられている。

主要DIの推移



景況天気図(前年同月比)

	全業種			製造業			非製造業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
業界の景況	☀️ △14.3	☀️ △19.4	△5.1 ↓	☁️ △37.5	☁️ △52.6	△15.1 ↓	☁️ △2.2	☁️ △4.7	△2.5 ↓
売上高	☁️ △1.4	☁️ △9.7	△8.2 ↓	☀️ △20.8	☀️ △47.4	△26.5 ↓	☁️ 8.7	☁️ 7.0	△1.7 ↓
収益状況	☀️ △21.4	☀️ △22.6	△1.2 ↓	☀️ △41.7	☀️ △52.6	△11.0 ↓	☀️ △10.9	☀️ △9.3	1.6 ↑

(凡例) 30以上 10~29 9~10 △11~△29 △30以下
☀️ ☁️ ☀️ ☁️ ☀️ ☁️

	全業種			製造業			非製造業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
販売価格	☀️ 34.3	☀️ 30.6	△3.6 ↓	☀️ 25.0	☀️ 10.5	△14.5 ↓	☀️ 39.1	☀️ 39.5	0.4 ↑
取引条件	☀️ △12.9	☀️ △17.7	△4.9 ↓	☁️ △4.2	☀️ △26.3	△22.1 ↓	☀️ △17.4	☀️ △14.0	3.4 ↑
資金繰り	☁️ △7.1	☁️ △9.7	△2.5 ↓	☁️ △4.2	☀️ △21.1	△16.9 ↓	☁️ △8.7	☁️ △4.7	4.0 ↑
雇用人員	☁️ △10.0	☁️ △9.7	0.3 ↑	☁️ △4.2	☁️ △5.3	△1.1 ↓	☀️ △13.0	☀️ △11.6	1.4 ↑

天気図の見方 各景況項目について調査月と前年同月を比較して、「増加」(または「好転」)したという回答(構成比)から「減少」(または「悪化」)という回答(構成比)を差し引いた値(DI)をもとに作成。天気は表示は凡例のとおりです。

製造業

食料品

- 観光客は相変わらず多いが、道路を人で塞ぐ状況は少なくなった。例年ならば、9月は観光客より地元客が多いが、今年はいつまでも観光客が多い。中国への輸出がストップしても魚問屋は影響がないので仕入の価格量に変化なく対応している。(小樽)
- 中国の日本産水産物輸入禁止措置に伴い、各加工場ではホタテ加工品を貯蔵する作業に注力している。この時期、秋鮭の漁獲時期となることから、ホタテ加工から秋鮭加工に移るところであるが、9月までの秋鮭の漁獲量は少なく、組合員の加工場は、ホタテ保管スペースを確保するため殻むき作業を行っている状況である。(例年、中国へ殻付のまま輸出し、中国が加工作業場となり、剥いたホタテをアメリカ等へ輸出している)。地場のホタテは販路が中国だけではないため、売上高は落ちているものの大きな金額ではない。なお、10月以降は秋鮭が大量となり、秋鮭のシーズンは本格的に始まってきている。(網走)

木材・木製品

- 9月期のトドマツ原木の工場への入荷は、前月期同様、順調に推移しており、落ち着いている。市況については、在庫が不足している状況にはなく、弱保合で推移している。また、国有林材のドドマツ一般材については、オホーツク及び道央圏では動きが出てきているものの、道北及び道南圏については不落が続く、10月期に大幅な価格の見直しを行うなど、その対策に苦慮している。しかしながらFITの影響から、原材料については安定かつ高値で推移している。
 - ・9期のカラマツ原木についてもトドマツ原木同様に、順調に推移している。8月後半から、徐々に発注が入り、函館、苫小牧の港から原木が本州方面への移出に活気が付いてきおり、市況についても弱保合で推移している。
 - ・トドマツ製材市況は、先月に引き続き景気後退等の影響により、新規住宅需要が芳しくないことから、受注は減少している。産業資材も減少傾向で推移している。価格は弱気配~保合の状況にあり、カラマツラミナについても、減少傾向で推移している。また、市況はカラマツ、エゾ・トドマツは弱含みが見込まれる。紙原料は、不足気味で原材料価格が上昇しており、原料の取り合いが全道的に見られている状況であるが、国内チップ買取価格の上乗せはなく、希望価格にはほど遠い状況が続いている。木質バイオマス原料については、順調に集荷されており、価格も高止まりの傾向が相変わらず続いている。(全道)
- 9月に入っても物流の動きは悪く、製材受注は回復していない。工場

稼働率の25%減少している状況が3か月以上続いており、依然として回復の兆しは見えない。(十勝)

一般機器

- 仕事の話は多くなっているが、原材料等の高騰により、採算が厳しい案件は無理に受注していない。
 - ・新幹線工事関連、半導体製造等の大きな動きがある中、時系列や優先順位を考察して人手不足等の解決を目指したい。北海道に本社があり、かつ札幌などに支店・工場がある中小企業を優先した行政の発注政策が特に必要ではないかと考える。電気料金などの補助は、最低年度未まで期間延長・補助額アップの実施を望む。ガソリンはトリガー条項発動も必要である。物価高、景気対策には、所得税減税や世帯への給付金支給を早期実施し、年収1000万以上等への次年度増税を望む。(札幌)
- 業界の景況については、受注先の計画見直し等による業務量の縮小や延期の傾向が見られ、その影響が懸念される。(帯広)

その他

- 9月も需要は低迷している。農産物関連の需要は、人参のしみ腐れ・南瓜の日焼け・玉葱の豪雨等の被害に伴い低迷している。ホタテ関係の受注も処理水放出のため減少しており、縮小する市場で受注競争が激化している。そのような中、大手企業メーカーは安価で受注しており、中小企業も販売価格を下げざるを得ない状況になっている。原材料・各種経費の高騰が生じているにも関わらず、販売価格の転嫁が大手企業メーカーの価格設定により進まないのは極めて遺憾である。
 - ・人手不足も重なり機械化するにしても費用が高額であり、中小企業では償却も困難な金額である。補助金などではなく、業界の棲み分けや需要の安定化を期待する。将来、大手とディーラーに席巻される事態に陥ることは回避したい。(札幌)
- 販売価格は前年に比べ若干上昇しているが、燃料費等の経費の上昇が上回っているため、収益状況は悪化している。
 - ・空知地方では、農業基盤整備や土木工事といった公共事業の減少に伴い、砂利のニーズが減少し、総体的に業況は悪化している。(全道)

非製造業

卸売業

- 建築資材の高騰で計画を見直す動きがあり、空調等の設備機器は売上を落としている。販売単価は引き続き上昇している。
 - ・生活雑貨はコロナの5類移行のあと堅調な動きを見せているが、販売価格の上昇に伴い消費者の買い控えもあって在庫は増加傾向。
 - ・靴履物では百貨店・量販店の来店客が回復したこと、販売単価が上昇したことで増収となっているが、利得的には横這いの状況。業界

では大手の卸が大手小売りに吸収されるなど再編の動きが活発となっている。
(札幌)

小売業

- 前年比較 物販 98.8% 金融 92.1%
 - ・旭川市の食のイベント「食べマルシェ」がコロナ禍前とほぼ同規模で開催され、中心市街地をはじめ、各観光施設や飲食店は賑わいを取り戻した。一方、地元市民は各種値上がりから、我慢しながらの消費が続いている。
(旭川)
- 会議所が市内大型店3店の8月上売実績をまとめた。大型店は、総合スーパーの直営売り場閉店後の初の実績発表となり、前年(5店)同月比24.7%減と大きく落ち込んだ。百貨店閉店以来7か月連続で前年比2桁のマイナスとなった。大型店は長年5店体制だったが、1月末に百貨店が閉店、残る総合スーパーも来年6月末で閉店すると方針が報じられ、閉店したら影響は大きいだろう。
(帯広)
- 販売数量が落ちている。厳しい経営状況は変わらない。
(稚内)
- 9月1日のWTI原油価格は85.55ドルで、先月から見て4.18ドルの反発でスタートした。これは、米連邦準備委員会による追加利上げが一段と後退したこと、主要産油国の減産で需給引き締まりを意識した買いが主な要因と思われる。その後、主要産油国の減産継続と中国の景気回復の思惑から、さらに反発等で29日のWTI原油価格は90.79ドルとなっている。
 - ・9月は国の元売りへの補助が新たな算定方法に改定された為、原油価格は高騰しているものの、末端市況は9月の後半に大きく下降改定となった。毎月のごとく量販店の価格に追従せざるを得ない状況から、利益は圧縮状態となっている。政府は10月中にガソリン小売価格を175円程度になるように算定方法を改定し、9月7日から適用を開始されているため、下旬には小売価格の改定がある模様。
(旭川)
- 自転車はほぼ動きがなくなった。除雪機を扱う業者は、一昨年の大雪の影響で需要が増加。商品は不足気味である。
(札幌)
- 6月位から売上の調子は順調だったが、9月位から下降気味に推移している。入荷は徐々に増加しており、生筋子の価格は昨年より下がったため、販売数は増加している。秋刀魚・秋鮭の入荷も増加しているが、価格は昨年と比較して下落している。全般的な物価上昇により顧客の購買力は芳しくない状況と言える。
(札幌)
- 【業界情勢】
今月の函館朝市は、1週目の週末に「はこだてグルメサーカス2022」、2週目の週末には「YOSAKOIソーラン祭り道南大会 in 函館朝市」が開催され、エリア内でのイベントが続いた。3週目、4週目の週末には、それぞれ連休であったので、週末を中心にコロナ禍以前の状況以上に賑わいが見られた。特に9月10日の「YOSAKOIソーラン祭り道南大会 in 函館朝市」は、4年ぶりの開催であり、見学者はもとより参加者も地元チームを始め、本大会上位入賞チーム、北海道内のチーム、東京のチームの全18チームと非常に多くのチームが参加し、朝市の利用に大きく貢献した。
(函館)
- 売上高対前年比107.6%の実績。
 - ・来客数は減少したが、依然として大口先の売上が顕著で好調を維持している。
(札幌)
- 9月も、連休があり、観光客が多く来店した。修学旅行生や外国人のツアーも多くみられインバウンドもかなり戻ってきている。9/16・17に、天皇陛下が来朝し、関係者などが釧路管内にいられた。
 - ・秋鮭やさんま、生筋子など秋の味覚が昨年よりも価格が安くなってきて、和商の日には市民のお客様が多く来店した。
(釧路)
- 9月の中東原油価格をみると、月初めから引き続き上昇傾向となり、月半ば以降は1バレル当たり95ドル前後となるなど、高値で推移した。
 - ・この間、北海道におけるガソリンのSS店頭小売価格については、政府の燃料油価格激変緩和対策による補助額が9月から拡大されたことから、月末には1リットル175円まで下落した。また、9月の全国ベースでのガソリン出荷量をみると、月間を通して低調に推移し、前年を下回った。
 - ・なお、政府の燃料油価格激変緩和対策事業が当面12月まで継続することから、ガソリンのSS店頭小売価格は高値ながらも安定した価格で推移するものと思われる。
(全道)
- 大手業者の不正問題により、業界全体が冷え込んでいる雰囲気は、中古車業界に多大なる影響をあたえている。以前よりお客様と信頼関係をしっかり築いている販売店は、販売台数などには影響はないと考えられるが、新規顧客の取り込みには苦勞をしているとの意見が多い。提携損保会社なども巻き込み、中古車業者=不正というイメージが定着しつつあるなか、中古自動車の購入において重要なことは「車選びよりお店選び」であることは、幸か不幸か大手販売店の事件により明確化された。今こそ組合員の団結力を発揮し、ピンチをチャンスに変えるべく、JU適性販売店制度の強化に取り組んでおり、賛同いただける会員も多い。全体としては各種不変であった。
(札幌)
- 今年は高温が続いたことで作物に影響が出ており、前年の6割ほどの収穫で農家の収益が落ちている。そのことに伴い、組合員での機械の販売売上も減少している。
(全道)

サービス業

- 地質調査及び建設コンサルタント業界は、受注業務の大半を公共事業に依存しているため、公共事業、特に建設関連事業の発注内容、量の影響を直に受ける。
 - ・今年度7月までの公共事業関連の地質調査関連業務の発注累計総額は、昨年比86%(全国累計)と大幅に落ち込んでいる。
 - ・個別の業務案件については、発注単価の上昇により1件当たりの受注金額は増えているが、発注件数が減少しているため、全国的に厳しい経営環境下にある。
 - ・地質調査では、現場でボーリング機械を操作する地質調査技士の確保は必須であるが、担当技士の高齢化が進み、人員不足も常態化しており、業界の将来に関して心配の声も頻りに聞かれるようになってきている。
(全道)
- 状況は変わらず燃料用重油の高止まり物資等の値上がりが影響。10月1日より入浴料金 大人・中人・小人各10円の値上げになるも、先はわからない。
(全道)
- 集客人数前年比109%(コロナ前R元年比83%)前月に続き、道内客は前年比で減少した。海外客は増加している。
(十勝)
- インボイス制度の対応に苦慮している。
(旭川)

建設業

- 道内の建設業界は、官庁・民間ともに、「発注量の過多」と「施工力の限界」が顕著になってきており、来春4月施行の「残業時間の上限規制」も相まって、来年度は更に混迷が深まる(期待される社会ニーズに業界が対応できない状況)ものと思われる。建築、土木、設備、電気各工種とも同様の状況と思うが特に設備工事が最も深刻な状況。
 - ・官庁工事では、北海道の発注工事は、次年度発注予定工事の内容を再検討し、先送りできるものを先送りするなど発注量の抑制に着手している。札幌市も同様であるが、ここに来て市立小中学校約300校全てに4年でエアコンを設置する方針が出され、これは設備工事と電気工事が複合した工事だが、業界としてこれらに対応することが非常に厳しい状況。もう一点は、政府にて防衛予算が今後飛躍的に増加する方針で、防衛省発注工事の増加への対応も厳しい。既に設備工事業界では官庁工事での「不調」が多発して諸官庁の施設整備に大きな影響を及ぼしている。電気工事は未だ「不調」は少ないが、今後の増加も懸念される。
 - ・民間工事としては、札幌市内の再開発関係(高度成長期竣工ビルの建替え需要)や、札幌駅周辺の整備関係、これに加え、千歳の大手半導体メーカー関係工事にて、来年度の発注量が急増することが懸念される。
 - ・電気工事業の人財は、「少子化の進展」、「働き方改革」、「人財が電気工事業から情報・IT業界へシフト」など、更に減少していくことが予想される。技術者(現場管理者)にしても、技能者(施工人員)にしても、数少ない人財の「取り合い」が更に加速しそうである。
 - ・収益状況としても、資機材費の高騰、人件費の高騰、燃料費等諸経費の高騰など急速に進展し、それに対する発注側の「価格への転嫁」も遅々としており、悪化している。
 - ・人財不足を補うこととして外国人の登用が考えられるが、外国人が日本の電気工事士資格を取得することがかなり難しく、なかなか入職が進まない状況である。女性の入職促進については、日本でも温暖な地域では少しながら進んでいるが、寒冷な北海道ではなかなか進んでいない。
(全道)
- 原材料費及び人件費の増加は続いており、収益への影響が生じている。
 - ・また、雇用人員不足による事業への影響が出ており、新たな事業獲得が難しい状況にある。
(札幌)
- 【組合員の業況】
組合員が受注している公共工事は後半に入り、多忙な状況となっているが、殆どの工事が年内完了予定である。
【問題点】
組合員の技術系従業員の高齢化に伴う減少は、公共工事はもとより個人の給水及び排水修繕依頼の対応にも苦慮する状況が続いており、若手を含めた技術職員の確保・育成が課題である。
【地域の实情】
コロナウイルス感染者が5月に5類に移行後も減少しない状況が続いているが、市内の飲食店等の現状を見ると回復しており、経済活動もコロナ前と比べると厳しいものの、順調に回復傾向にある。基幹産業が農業の名寄市では、異常な気候に伴う高温が続いたが、稲作においては順調に生育が進み稲刈りが最盛期を迎えている。
(名寄)

運輸業

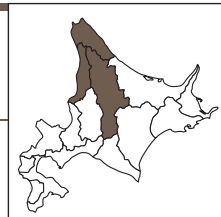
- 農作物の運搬については、生育が早かったため、忙しそうだった。燃料油価格が毎月高騰してきており、収益については様々である。
(小樽)
- 農産物の荷動きについては、地域差があるものの高温・ゲリラ豪雨の影響を受け、荷動きは良くない。品質も例年より悪い。
 - ・一般カーゴの荷動きは、10月の値上げ前の駆け込み需要があったため、月末に車両不足が生じた。
 - ・飲料水関連は高温の影響で8月に引き続き荷動きが良かった。
(石狩)

支部だより



上川・宗谷支部(旭川市)

所管／上川・宗谷総合振興局・留萌振興局管内
駐在職員／小野事務所長・長谷川主事



稚内市で知財活用セミナー

「中小企業を支える知財戦略」が開催されました！

9月14日(木)に稚内市で、当会の「組合活性化助成事業」を活用して、協同組合稚内とみおか商店会、公益社団法人稚内地方法人会稚内支部、稚内商工会議所が共催(後援：本会宗谷支部、稚内ブランド推進協議会)で、知財活用セミナー「中小企業を支える知財戦略」が開催されました。

冒頭、協同組合稚内とみおか商店会の今村理事長(本会宗谷支部長)より主催者挨拶があり、その後、元北海道経済産業局長で、中小企業を支える業界初の

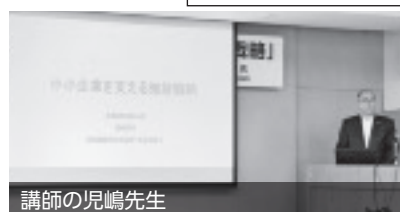


今村理事長の主催者挨拶

元官僚弁理士の児嶋秀平氏を講師として、様々な知財戦略やブランド化に資する商標登録など

について分かりやすく説明がなされました。

セミナー終了後も、参加者から講師に、稚内等が主産地である真鱈を寒風で干しあげた干物「棒だら」のブランド化に向けた商標登録について質問がなされるなど、稚内の中小企業が知財



講師の児嶋先生

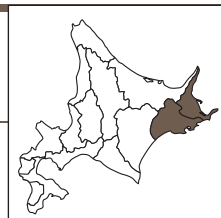


会場の様子

戦略を考える契機となる活発な質疑応答が行われ、今後の稚内での地域ブランド構築に向けた取組が期待されるセミナーとなりました。

釧根支部(釧路市)

所管／釧路総合振興局・根室振興局管内
駐在職員／長谷川事務所長・高橋主事



釧路和商市場に新店舗が続々と！

釧路和商市場(釧路和商協同組合)では、今年の3月と7月に新店舗がオープンしましたので、ご紹介いたします。

まずは、3月にオープンした「わやだ」です。こちらの店舗は、なんと2018年以来の5年ぶりとなる新店舗で、商品は惣菜や弁当が中心となっており、店主(渡辺大祐さん)の日本料理やイタリアンレストランで修業した経験を活かしてユニークなメニューを提供しています。また、店主は東京で複数の会社を経営しており、釧路に「新しい風を吹き込んでほしい」と



いった期待の声も聞こえます。

メニューは、6種類の豊富なトッピングが選べる「ザンギ弁当」を中

心に、「焼きサバ弁当」、「デミカツ丼」、「スイーツ」など和洋の料理を取りそろえています。

次にご紹介するのは、7月にオープンした「クシロー」です。こちら



のお店の主力商品は、スルメイカの一晩干しを店頭で焼いた「さきいか」で、利用する原料の「イカ」は釧路産等の道内産を店内で製造機械を使った手焼きで作られ、柔らかくうまみを感じやすいのが特徴です。

出店のきっかけは、店主(新木重幸さん)の「本当においしい、「さきいか」を釧路の人に食べてほしい」という想いでした。

皆様も、是非釧路和商市場へ行ってみてはいかがでしょうか！！



胆振支部(室蘭市)

所管/胆振総合振興局管内
駐在職員/若狭事務所長・水内主事



「函館・室蘭事務長会」交流会開催！



9月20日、組合事務局を会員とする「函館地区中小企業団体事務長会」と「室蘭中小企業組合事務長会」が、初めてとなる交流会を室蘭市の「やきとり一平」で開催いたしました。

今回の懇親会は、函館事務長会の9月20日～21日の視察研修(訪問先:「ウポポイ」(白老町)、「白鳥台ショッピングセンター」(室蘭市)、「伊達市観光物産館」(伊達市))と合わせて実施する運びとなりました。

交流会では、それぞれ地域や業界が違う組合が集まった中で、情報交換し親睦を深め、大変有意義な交流会となりました。今後も連携をさらに深めていき、両団体のさらなる発展を遂げるよう事務局も努めていきます。

室蘭と青森を結ぶ

フェリー航路が再開しました！

10月2日、室蘭港と青森港を結ぶフェリー航路が15年ぶりに再開されました。

再開の背景には、2024年のトラック業界の残業規制強化、通称「2024年問題」への対応があります。超過勤務の抑制や運転手不足が予想される中で、フェリー航路を活用した運転時間の短縮や休憩時間の確保が注目されています。

この航路の復活は、新しい物流の流れを生むだけでなく、地域にとっても大きなビジネスチャンスとなることが期待されています。

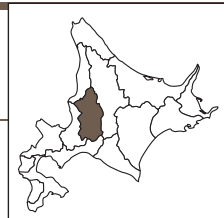


【参考】室蘭港フェリー航路
(2023年10月2日就航！！)



空知支部(岩見沢市)

所管/空知総合振興局管内
担当/連携支援部 外川主査



三笠市のひだまり企業組合が 事業継続力強化計画の認定を受けました！！

去る令和5年8月25日付で、三笠市のひだまり企業組合(川端由美枝理事長、組合員26人)が北海道経済産業局から事業継続力強化計画の認定を受けました。

事業継続力強化計画の認定制度は、令和元年7月に施行された中小企業強靱化法において、防災・減災に取り組む中小企業が、その取組内容(事前対策)をとりまとめた計画を国が認定する制度として創設されたものです。事業継続力強化計画は策定することにより、災害発生時における被害の最小化、平時における重要業務の見直し、取引先からの信頼性向上など様々なメリットがありま

す。加えて、認定を受けた中小企業は、税制措置や金融支援、補助金の加点などの支援策が受けられます。

当組合は、介護事業者での「令和3年度介護報酬改定」においてBCP(事業継続計画)の策定が義務化となり、BCP策定の前段として業務の棚卸や災害発生時に必要な計画策定のため、本会の経営環境変化対応支援事業を活用して計画策定を始めました。

本会事業で3回の専門家派遣を行い、災害発生時の想定リスクや事前対応、優先業務、訓練・教育などについての検討を行い、これらの計画を申請書に落とし込み完成させました。

様々な災害が多発する現代において、事業継続力強化計画の必要性が高まっております。本会では計画策定の支援事業を行っておりますので、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



中小企業大学校旭川校おすすめ研修のご案内

各市町村・金融機関・商工会議所・商工会等で助成制度があります。
概要は、旭川校のホームページをご覧ください。(右のQRコードからもご覧頂けます)



No. 53 海外向け EC の成功への基本戦略

NEW 札幌開催

現地と自社を理解した海外への販売戦略を考える

11月17日(金)

受講料：16,000円(税込)

対象レベル：経営者・経営幹部



海外向け EC の最新動向や国内 EC との違い、海外向け EC の注意すべきポイントなど、基礎知識を学び、自社商品の海外向け EC 戦略について検討します。

No. 52 みんなのメンタルヘルス講座

NEW

ストレスから自分と職場を守り

働きがいのある職場へ!

12月4日(月)～5日(火)

受講料：22,000円(税込)

対象レベル：管理者・新任管理者



ストレスについて理解を深め、自分自身と職場メンバーをストレスやメンタルヘルス不調から守る手法を学び、魅力ある働きやすい職場づくりを目指します。

No. 41 営業計画策定講座

NEW

マーケティングの視点で考える

営業マネジメントの実践法

2024年1月15日(月)・16日(火)
2024年2月20日(火)・21日(水)

受講料：36,000円(税込)

対象レベル：経営幹部・管理者



マーケティングの基本と営業戦略・営業計画の立て方を理解し、インターバルを活用して自社の営業計画立案に取り組み、組織的な営業活動の進め方を学びます

No. 42 トラック運送業の業務改善講座

物流戦略立案による業務改革の進め方

2024年1月18日(木)～19日(金)

受講料：22,000円(税込)

対象レベル：経営幹部・管理者・その候補者



トラック業界の現状と今後の動向を理解し、同業界の多くが抱える経営課題を参考に、現状の事業・業務の課題抽出と今後の解決策の立案プロセスを習得します

No. 44 経営トップセミナーⅡ (札幌キャンパス開催)

NEW

中小企業こそ「人」が財産 ～これからの時代の人材育成～

【研修日時】2024年1月30日(火)

【受講料】16,000円(税込)

【対象者】経営者・経営幹部・後継者



【研修のねらい】

経営者と社員の共感を醸成させ、好循環にするための仕組みとなる「真の人事制度」のポイントや運用の基本について学ぶと共に、これからの時代に求められる経営者としてのあるべき姿について考察します。

- ①人材定着の課題と人材育成の重要性について改めて認識します。
- ②ケーススタディやディスカッションを交え、真に必要な人事制度のポイントについて学びます。
- ③これからの時代に求められる経営者としてのあるべき姿、自身や自社の姿を客観的に見つめ直します。

講座内容詳細は 初めてのの方は

資料請求や講座内容に関してお気軽にお問い合わせください。

電話 0166-65-1200 / FAX 0166-65-2190

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

住所 旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

中小企業大学校 旭川校



安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

＼他にもこんな特徴があります。／

- ・月々の掛金は1,000円から
- ・契約者貸し付けの利用が可能
- ・共済金の受給権は差押禁止

退職金の準備を
中小機構が
お手伝いします



経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けると貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

取引先の倒産から
会社を守る制度です！



共済相談室 TEL. 050-5541-7171 【受付時間】平日 9:00～17:00

令和5年9月から
オンライン
手続き
スタート

制度の詳細な内容は2次元コード又はホームページからご確認ください。
ご要望の多い一部の手続きについてオンライン手続きが出来ます。





商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

札幌支店	〒060-0002 札幌市中央区北二条西 3-1-20	TEL : 011-241-7231
函館支店	〒040-0001 函館市五稜郭町 33-1	TEL : 0138-35-5022
帯広支店	〒080-0013 帯広市西三条南 9-23	TEL : 0155-23-3185
旭川支店	〒070-0035 旭川市五条通 9-1703-81	TEL : 0166-26-2181
釧路営業所	〒085-0847 釧路市大町 1-1-1	TEL : 0154-42-0671

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



人を思う。未来を思う。

商工中金

北海道中小企業団体中央会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3階

TEL 011-231-1919 FAX 011-271-1109

ホームページアドレス <https://www.h-chuokai.or.jp>

発行日/2023年11月1日(毎月1日発行)

*この機関誌は、誰もが読みやすいユニバーサルデザインフォントと環境にやさしい植物油インキを使用しています。

